

平成23年度 教職員派遣研修に関するアンケートの集計結果

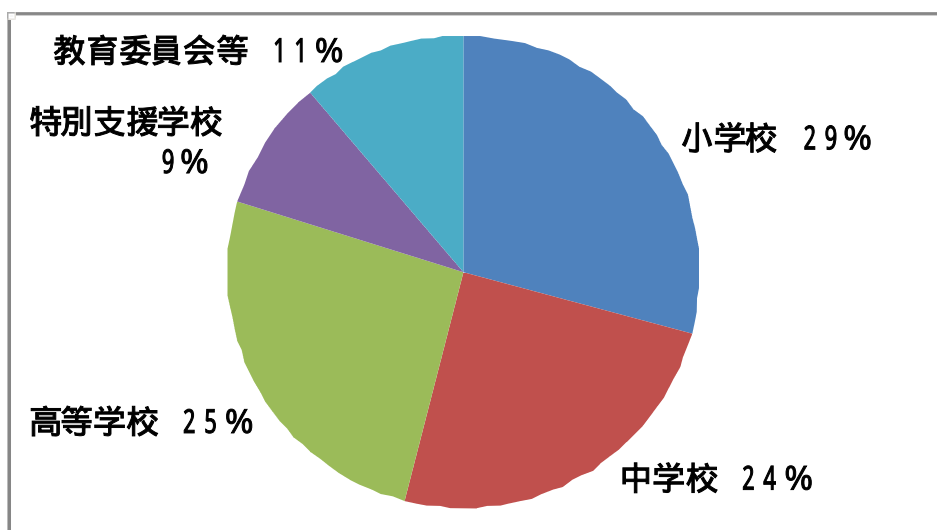
(平成22年度に派遣研修を受けた教職員の1年後の成果還元度アンケート)

集計総数 89名

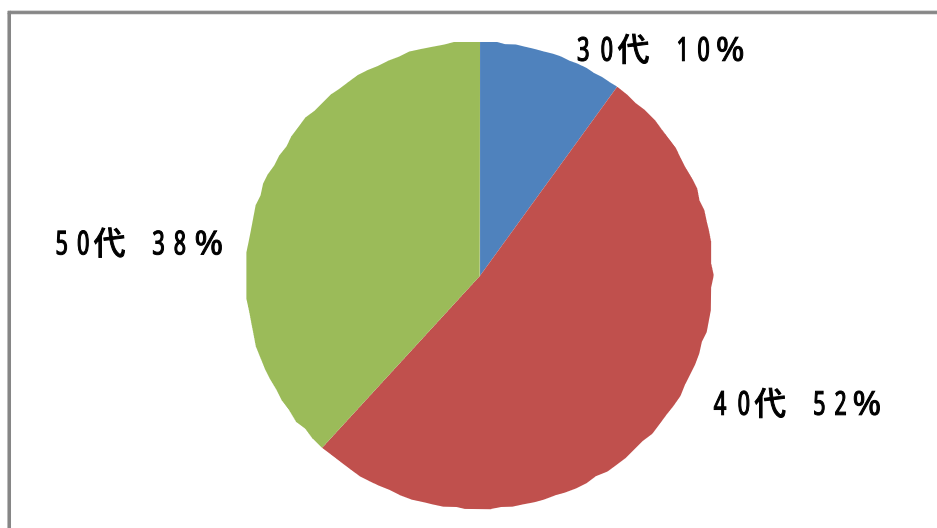
派遣分野

- 1 教職員等中央研修(校長・教頭等研修)
- 2 教職員等中央研修(中堅教員研修)
- 3 生徒指導指導者養成研修
- 4 教育課題研修指導者海外派遣プログラム
- 5 教頭等民間派遣研修
- 6 特別支援教育総合研究所特別支援教育専門研修
- 7 長期内地派遣研修
- 8 日韓学術文化青少年交流事業
- 9 日本の社会科教員の韓国学Workshop
- 10 日本青年訪中代表団教育関係者分団

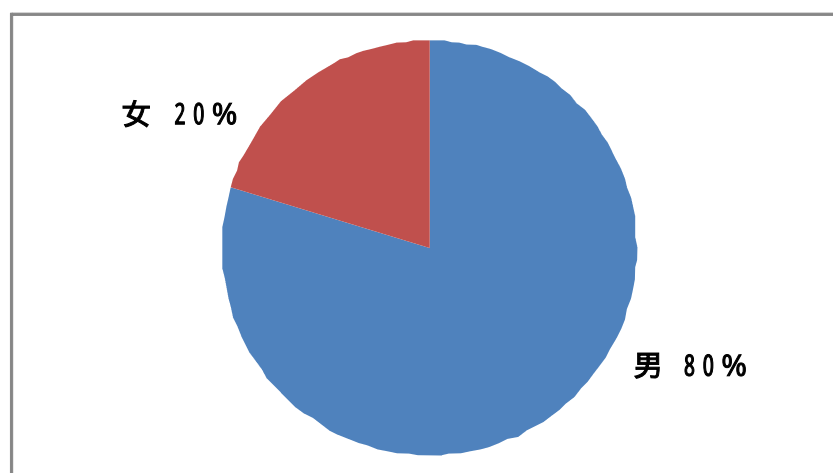
所属種別(平成23年度所属)



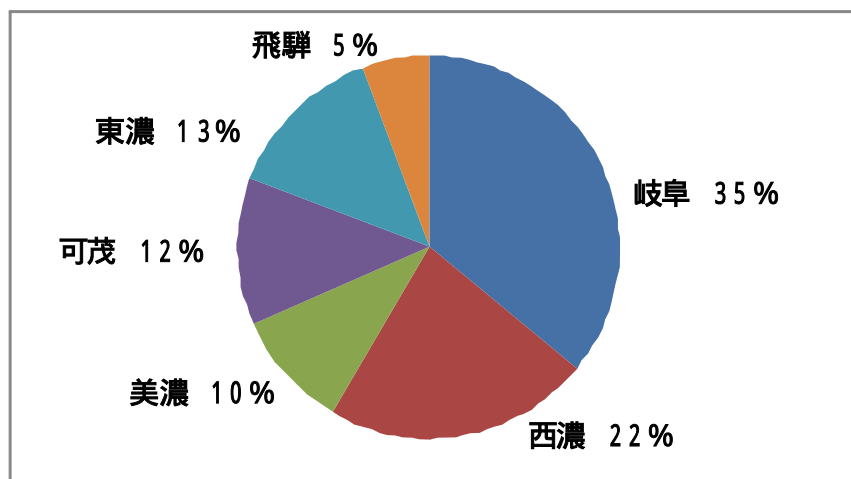
年代別



男女別



地区別



設問ごとの集計

設問1 あなたはどのような期待のもとに、研修に参加しましたか。
(主なものを2つ選んでください。)

選択肢	回答割合(%)
ア 教員としての視野を広げるため。	37
イ リーダーとしての素養の獲得のため。	14
ウ 当面する課題の解決に必要な知識・技能の習得のため。	26
エ 研修先からの最新の教育情報を入手するため。	12
オ 研修先での交流を通して教育情報を入手するため。	10
カ その他	1
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の一般就労に対して、企業が求める力を知るため。 ・特別支援学校における教育相談体制のあり方とそれを浸透させる方策を学ぶため。 	

設問 2 (1) 研修の成果は、ありましたか。

「はい」... 100% 「いいえ」... 0%

(2) (1)で「はい」とお答えの方にお尋ねします。その理由として、主なものを2つ選んでください。

選 択 肢	回答割合(%)
ア 学校の特色を生かした教育課程の編成等教育内容の充実に役立っている。	16
イ 学校の運営面で役立っている。	24
ウ 勤労意欲、職場の士気の高揚に役立っている。	17
エ 学校の危機管理に役立っている。	12
オ 学校・家庭・地域との連携強化に役立っている。	6
カ 若い教員の指導に役立っている	11
キ 教科指導の面で役立っている。	12
ク その他	2
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や教職員に正確な情報や、学校と社会とのつながりについて説明するために役立っている。 ・学級経営に役立っている。 ・校内において教育相談体制と態勢を作る基礎ができた。 	

設問 3 (1) 研修終了後、意識面に変化が見られましたか。

「はい」... 100% 「いいえ」... 0%

(2) (1)で「はい」とお答えの方にお尋ねします。その理由として、主なものを2つ選んでください。

選 択 肢	回答割合(%)
ア 視野が広がった。	45
イ 指導力が養われた。	14
ウ 積極性が養われた。	10
エ 責任感が養われた。	18
オ 協調性が養われた。	2
カ 考え方が論理的になった。	9
キ その他	2
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の大切さを再確認した。 ・教員ではない立場から教育活動を考えてみる視点を持つようになった。 ・より多面的に、いろいろなケースを想定して検討し判断するようになった。 	

設問 4 (1) 研修終了後、研修の成果をそれぞれの職場や地域で還元しましたか。

「はい」... 81% 「いいえ」... 9%

(2) (1)で「はい」とお答えの方にお尋ねします。その理由として、主なものを2つ選んでください。

選 択 肢	回答割合(%)
ア 学校の中で同僚を対象とした研修報告会を実施した。	36
イ 学校の中で児童生徒を対象とした研修報告会や特別授業を実施した。	15
ウ 報告書や刊行物を作成配布した。(教員研修センターや教育委員会への提出など義務的なものは除く)	14
エ 教員で構成される研究会等で発表した。	21
オ 学校外で一般向けの講演等を実施した。	2
カ 岐阜県総合教育センター等の研修講座の講師を務めた。	2
キ その他	10
<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育について、地区の研究資料に寄稿した。 ・他校の校内研究会の講師を務めた。 ・地区の教頭会、教務部会等で研修成果を発表した。 ・研修成果を文書にまとめて、勤務校の職員に配付した。 ・校内外の各種会議の際に、研修成果を踏まえて指導・助言を行った。 ・PTA広報誌及び校誌へ寄稿した。 	

研修の成果・意識の変化について (意見抜粋)

最新の教育事情を知る機会や有名企業の経営理念を学ぶ機会が得られ、学校課題を広い視野から分析できるようになった。

学校の管理運営、職務、サービス等に関し、法令に基づいて職員に説明できるようになった。「スクールコンプライアンス」や「リスクマネジメント」等の研修を通して、学校の教育活動が法に基づいて行われているということと危機管理の重要性を再認識できた。従来の方法やシステムを踏襲するのではなく、周囲の意見を聞きながら新たな取り組みを始めることができた。

海外での見聞を通して、日本の教育の良さを再認識でき、同時に、日本の教育のさらなる充実が必要である点も発見することができた。

諸外国の学習指導法、学校運営等、多くのことを学び実践した。先進的な環境教育に触れ、自校や地域の環境教育を見直すことができた。

研修を通して築いた人的ネットワークによる情報交換を通して、より良い教育活動を実践するための情報共有ができた。

管理職としての心得、各役職の役割やその評価方法、人材育成等について企業で学んだ内容をもとにして、自校の取組を見直すことができた。

教材の扱い方を工夫したり、電子黒板を活用した授業を実践した。

視野が広がったことで、地域の特性や、その地域で育った生徒の特性を客観的に捕らえることができるようになった。

予防的・開発的な教育相談の重要性についての認識が高まった。

以前よりも広く深い知識をもとにして話ができるようになった。

どのように職場や地域に還元したか（意見抜粋）

校内研修会での報告、研修報告書の配付を通して還元した。

地区内の研修会や研究会等にて報告した。

県教育委員会主催の研修会で講師を務め、実践発表を行った。

校内研修会を通して、キャリア教育のあり方、教員研修のあり方と必要性について伝えることができた。

学年会、分掌会などでの発言の際に、研修を通して得た知見を活用することができた。

校内で危機管理マニュアルを見直す際に、研修成果を踏まえてポイントを説明した。

校内において、新学習指導要領に関する研修会を実施した。

研修報告をもとに学会誌に起稿したことを契機として、自校の教育相談体制について多くの方が関心をもってくれた。自校以外に対して研修成果を還元する機会が得られた。

校誌、広報誌等に寄稿した。

授業や学校新聞等を通して、生徒に伝えた。

研修成果を踏まえて、外国語活動について授業実践を行った。

全校朝会の時間を活用して、海外の教育について、写真を使って子どもたちに紹介した。

児童及び保護者を対象として、映像を用いたクイズ形式の特別授業を実施した。

地域の社会教育的な組織について紹介し、地域と手を組んで子どもを育てることの必要性を伝えた。